

口頭意見陳述の申立書

国税不服審判所

担当審判官 _____

審査請求人（参加人）

(住所・所在地) 〒 _____

(ふりがな) ()

(氏名・名称)

(法人の場合、法人番号)

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

(法人の場合、代表者の住所) 〒 _____

(法人の場合、代表者の氏名、ふりがな)

()

代理人

(住所・所在地) 〒 _____

(ふりがな) ()

(氏名・名称)

平成 年 月 日に收受された審査請求書に係る事件について、国税通則法第95条の2の規定に基づき、口頭で意見を述べる機会を設けるよう申し立てます。

なお、原処分庁に対する質問の有無等については、下記のとおりです。

記

1 原処分庁に対する質問の有無

- 有 ※ 原処分庁への質問を希望される方は、事前に質問事項の提出をお願いします。
- 無

2 原処分庁職員の出席（上記1で「無」を選択した場合）

- 出席を希望する
- 出席を希望しない

※ 国税通則法第109条に規定する参加人がこの申立てを行う場合には、次の欄に審査請求人の氏名等を記載してください。

(住所・所在地) _____

(氏名・名称) _____

14号様式

審判所整理欄※

番号確認

※審判所整理欄は記入しないでください

「口頭意見陳述の申立書(14号)」の書き方

この「口頭意見陳述の申立書(14号)」は、国税通則法第95条の2の規定に基づき、担当審判官に対して口頭意見陳述を申し立てる場合に使用します。

- 1 「平成」又は「令和」の記載については、不要な記載を二重線等で抹消してください。
- 2 「1 原処分庁に対する質問の有無」欄
原処分庁に対する質問の有無について、いずれか該当する□にレを付してください。
- 3 「2 原処分庁職員の出席（上記1で「無」を選択した場合）」欄
原処分庁職員の出席の希望について、いずれか該当する□にレを付してください。